

メーカー/ブランド名	車名	メーカー/ブランド名	車名
カワサキ KAWASAKI	カワサキ 500 メグロ K2 Kawasaki 500 MEGURO K2	カワサキ KAWASAKI	650 W I
<p>1960年のカワサキ・メグロ業務提携によって初めて生まれたモデル。エンジンは、目黒製作所が1960年に発売した「メグロ スタミナK1」の並列ツインエンジンがルーツである。</p> <p>川崎航空機工業内に再設計されたカワサキ500メグロK2は、ベースモデルのメグロ スタミナK1に比較し、耐久性を大幅に向上させるとともに、軽量化と最高速の向上を果たした。</p>		<p>カワサキ500 メグロ K2をベースに排気量を増やして米国のビッグバイク市場に売り出すためつくられた、当時の国産最大排気量のスポーツ車。エンジンから独立したミッション、ドライサンプ式の潤滑システム、そして他の国産車と一線を画したタンク造形をはじめとしたスタイリング。鮮やかなキャンディレッドのデザインが特徴。</p> <p>タンクのエンブレムにある旗マークとKAWASAKI書体は当時の川崎航空機工業(株)のもの。</p>	
			
メーカー/ブランド名	車名	メーカー/ブランド名	車名
カワサキ KAWASAKI	カワサキ 900 スーパー4 Kawasaki 900 super4 (Z1)	カワサキ KAWASAKI	GPZ 900R (Ninja)
<p>当時のカワサキが持つ技術の粋を集めて産み出されたモーターサイクル。DOHC並列4気筒のメカニズムを二輪車では世界で初めて量産車に投入。この903cm<sup>3</sup>のエンジンは信頼性や耐久性だけでなく整備性も群を抜いていた。4本出しのマフラーと「スリム、セクシー、スリーク」を合い言葉にした流麗なデザインも高い評価を得て、北米をはじめ、ヨーロッパでも記録的な大ヒットとなりレースでも活躍した。</p>		<p>「量産車世界最速」を追求して開発されたフラッグシップ・スーパースポーツ、初代Ninja。このクラスでの最高のパフォーマンスを追求した水冷908cm<sup>3</sup>DOHC4バルブ4気筒エンジンを、軽量スチールダイヤモンドフレームに搭載。ハイパワーと空力を追求した動力性能とストリートでの扱いやすさを両立し、世界各国で高く評価された。そのコンセプトは現在に続くNinjaシリーズに綿々と受け継がれている。</p>	
			